

# No. 1219

## 江田三郎氏急死

社会党を離党し、新政治集団・社会市民連合を結成、参院選全国区で高位当選が確実視されていた江田三郎氏は5月22日、肺ガンのため突然死去した。さる3月26日、離党表明する江田氏。  
「多くの同志が党内に残り、一緒に改革をやろうじゃないか、と説得したけど、あえて心を鬼にして自分の道を進みます」  
江田氏の急死は中道革新勢力に衝撃を与え今後の政治の流れに大きな影響を与えそうだ。

## 古代への誘い

— シリア展 —

東京新聞、中日新聞などの主催で「古代シリア展」が5月20日東京、上野の国立博物館で三笠宮両殿下を迎え華やかに開れました。シリア・アラブ共和国文化大臣のメッセージが披露されたあと、三笠宮妃殿下がテープカット。会場には高度の芸術美と古代のロマンあふれるオリエント文明の遺産が251点集められました。展示品はいずれもシリア3大博物館の所蔵品から厳選された秘宝で海外公開は今度が始めて。見物客もしばし、古代オリエント文明の豊かさに魅了されました。このシリア展は日本とアラブ主要国シリアとの親善と相互理解を深めることでしょう。

## もうけっこう！ 辞任劇

— 愛知・岩倉 —

愛知県岩倉市は農村の風情を残す、名古屋のベッドタウン。三万都市として誕生してから6年、人口は倍増、福祉や教育の充実が叫ばれ市の財政はひっばくを来たしている。

5月23日、この町で三度目の市長選挙が行なわれた。ブラジル放送にまで報じられたと云う伊藤民男前市長の辞任劇が発端となった。市民との対話を公約に、伊藤氏が市長に当選したのは今から3年前。まだ市の財政にもうるおいがあった。しかし、市政が世の不景気風を受けだすとともに議会から逃亡。「やめる、やめない」と云う繰り返しの辞任劇が演じられた今、伊藤氏はガソリンスタンドの経営者として人生の再スタートを切っている。市長不信に陥った市民の投票率は68.45%前回の73.56%を大きく下廻った。初代、二代と続いて辞任した岩倉市の市長。市民はもう辞任劇だけはごめんだと云う。